

はできないんですか。答弁ください。

○議長（初村 久藏君） 市民生活部長、村井英哉君。

○市民生活部長（村井 英哉君） お答えいたします。

ただいま、現状としていろんなことを議員のほうからお聞きをいたしました。私のほうとしても、この後、関係の職員、それから今雇用いただいております会計年度任用職員の方々、意見をお聞きしながら、現状の把握をして、今後どういったことをすればいいか、今議員おっしゃいますことも含めて、対応策を考えていきたいと思っております。

一つ、課長とおっしゃいますのは、市民生活部の課長。

○議員（7番 入江 有紀君） 人事課の課長です。

○市民生活部長（村井 英哉君） 環境政策課のほうでは、課長のほうが度々出向いて、先ほどおっしゃいましたような、ちょっと日陰をつくるとか、そういったこともやっておりますので、今後、現状を含めて、現場と相談しながら、意見を聞きながら対処策を考えていきます。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 7番、入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） 人事課の課長は一切来ていないそうです。私、来たら来たように連絡してくださいと言っているんですけど、全然来ていません。あの状態を行って見てやってください。大変です。そして、廃棄物処理手当をつけてやってください。どうかできませんか。廃棄物を処理しよる人に廃棄物手当をつけるのが当たり前だと思います、私は。そしたら、その人たちにもつけんなら。

○議長（初村 久藏君） 入江有紀君、時間が来ております。

○議員（7番 入江 有紀君） その3人の正職員にさせればいいじゃないですか、廃棄物処理を。あんまりです、廃棄物処理をさせとってつけない。犬、猫を焼かしとって500円もくれない。それはちょっとあんまりだと思います、市のやり方が。もうちょっと考えてください。

時間が来ましたので。ありがとうございました。

○議長（初村 久藏君） これで、入江有紀君の質問は終わりました。

○議長（初村 久藏君） 暫時休憩します。再開は11時5分からといたします。

午前10時52分休憩

午前11時05分再開

○議長（初村 久藏君） 再開します。

引き続き、市政一般質問を行います。1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） 皆様、おはようございます。会派創政の1番議員、糸瀬雅之でございます。

一般質問に入ります前に、先月、8月16日の請願審査特別委員会で文献調査受入れは賛成多数で可決されました。その後、ある議員のSNSの投稿の文章内容で、今から読み上げることが書かれてありました。請願審査特別委員会で建設業関係団体の請願に賛成した議員は、核のごみ最終処分場を対馬市に建設することまで賛成したのだから、食い逃げは二度と主張できないと、ある議員が自らSNSに書き込みをされていました。

この書き込みを見られた皆様はどう思われますでしょうか。3期10年も務められている議員が書く行動でしょうか。まず、食い逃げの日本語の意味から間違っていますので、教えたいと思います。

食い逃げとは、飲食店などで食事をした後、お金を払わず無銭飲食をして逃げる行為を食い逃げと言います。これは立派な犯罪行為であります。今回の文献調査は国が交付金を支給して対馬市に調査協力を依頼するので全般的な外れな内容であり、賛成議員が無銭飲食をし、犯罪を犯したかのような投稿内容でありました。

賛成議員に対して侮辱したかのような内容であり、議員として品位と資質に欠けた議員であります。SNSを活用せず堂々としたこの議場で男らしく発言するのが本当の議員の姿ではないでしょうか。（発言する者あり）

○議長（初村 久藏君） 静かに。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） おととい、食い逃げの投稿文に対する訂正をされていましたが、訂正をしたからそれで終わりではない、昨日、誰に謝ったらいいか分からないと駄々をこね、議員らしくない発言をされていましたが、食い逃げの投稿を見て、あなた自身の支援者もがっかりされていました。

投稿された議員に言いたいのは、もう言い訳はせず、この9月定例会中にこの議場でケーブルテレビを通じて賛成した議員10人やその支援者に対し、良識ある考えのもと心からの謝罪、SNSの削除を求めたいと思いますので、あとは議長に判断をしていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

それでは、通告しておりました一般質問に入らせていただきます。

まず1点目は、対馬市の財政計画についてでございます。

対馬市中期財政計画、令和3年度から令和7年度までの5か年計画を立てられて行政運営を行われていますが、現在までの成果と、今後の自主財源確保に向けた課題と、財政が厳しい対馬市として歳出削減に向けての具体的な事業は何か、答弁をお願いいたします。

次に、2番目、航路・航空運賃の低廉化についてでございます。

島外対馬出身者の期間限定の里帰り割引制度の導入についてですが、ちょうど私は1年前の9月定例会でも一般質問をさせていただきましたが、再度、今回もさせていただきたいと思えます。

まず、期間限定とは、ゴールデンウィーク、お盆、年末年始の期間だけでも対馬出身者並びに観光客の島民割引制度と同等の運賃低廉化割引制度の検討ができないか、答弁をお願いいたします。

次に、3番目、水産の振興についてでございますが、近年、対馬名産品でありますアナゴの漁獲量が減少傾向にございますが、原因といたしまして、生産者の高齢化、後継者不足による廃業やアナゴ籠に使用する餌代の高騰によりアナゴ漁から撤退する生産者も見られますが、今後の生産者に対する支援対策について、市長のお考えをお願いいたします。

以上、3点をよろしくお願いいたします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 糸瀬議員の質問にお答えいたします。

まず、1点目の対馬市財政計画についてでございますが、対馬市中期財政計画につきましては、生産年齢人口の減による市税収入の減少や少子高齢化の進行に伴う社会保障関係経費、公共施設の老朽化に伴う維持補修経費の増加など、自主財源が乏しい本市においては今後も財政状況は厳しさを増すことが予想されます。

そのような状況の中にあっても将来世代に過度な負担を先送りすることなく、安定的な財政運営を進めていくため、令和4年3月に令和3年度から令和7年度までを計画期間とする第4次対馬市中期財政計画を策定し、これまで以上に効率的で持続可能な財政基盤の構築を図ることを目指しております。

この中期財政計画では中期的な財政状況を推計し、限られた歳入の中、歳入に見合う歳出を基本理念として、令和7年度の財政状況が今よりも厳しい状況とならないために、「財政調整基金、減債基金の残高合計50億円以上を維持する」及び「市債残高を400億円以下とする」の2つの大きな目標を設定しているところでございます。

令和4年度末の財政調整基金と減債基金の残高につきましては約76億7,000万円、地方債現在高は約413億4,000万円となっております。

中期財政計画の進捗状況としましては、基金残高は推計以上に積立てができていく状況であり、地方債残高につきましては、市債発行額を起債の償還元金以下に抑制し地方債残高の縮減に努めているところでございます。

引き続き、令和7年度末の地方債残高400億円以下の目標達成に向けて、鋭意、取り組んでまいります。

次に、自主財源の確保についてでございますが、まずは歳入の根幹であります市税収入の安定的な確保がございます。企業誘致や地場産業への支援をすることにより、長期的な税収の確保に努めてまいります。また、引き続き、徴収対策を推進し徴収率の向上を図ってまいります。

次に、ふるさと納税制度の推進についてでございます。令和5年度からは、ふるさと納税業務を他の自治体で多くの実績がある株式会社スチームシップ様と委託契約を結び、新たな返礼品の開発やウェブページの更新、地域事業者への支援などを推進し、自主財源の確保に努めてまいります。そのほかにも公有財産の有効活用や国際ターミナルの使用料の見直しなどの取組を進めます。

次に、歳出の削減の具体的な事業は何かとの御質問でございますが、歳出削減につきましては、まずは事務事業の見直しでございます。最小の経費で最大の効果を得るために既存の事業についても見直しを図り、真に必要な事業に対して限られた予算の配分に努めてまいります。

また、令和4年3月に改定した対馬市公共施設等総合管理計画や令和5年3月策定の対馬市公共施設等個別施設計画第2期に基づき、計画的な公共施設の廃止、集約、複合化、長寿命化、転用、規模縮小などにより維持管理経費の縮減や平準化を行ってまいります。

そのほかにも施設管理業務委託の内容や運営方法の見直し、民間活力、ボランティアの積極的な活用、補助金の整理、合理化など、これまでと同様に着実に歳出の削減に努めてまいります。

次に、航路・航空運賃の低廉化についてでございますが、島外対馬出身者のゴールドエンウィーク、お盆、年末年始、期間限定で島民割引制度と同等の運賃の低廉化割引制度は検討できないかということですが、議員御承知のとおり運賃低廉化事業は有人国境離島法による地域社会維持推進交付金を活用し、離島住民向けの航路・航空運賃をJR運賃並みに引き下げることとして実施しているところでございます。

この運賃低廉化事業の開始当初から、市の活性化のためには交流人口を増やし観光産業や移住・定住につなげるため、離島に居住する島民だけでなく離島の住民が扶養している学生で島外に住所を有する者や島内に本籍を持つ者など、対象となる範囲の拡大を図るため、関係離島の市町と国、県へ要望をしてきたところでございます。

割引適用者を拡大するためには、対象者の範囲及び用途の基準を設ける必要があり、拡大した場合、対象者が増え予算的負担も増えていくことや確認事務における負担等、様々な課題が予測されます。そのため、要望は行っておりますが島外対馬出身者までは実現できていないのが現状であります。

そういった経緯から、現在は島民に加え準島民として住民が扶養している学生、市の施策の一環として行う事業のために来訪する一定期間の研修または実習等を行う者、介護認定を受けている住民を介護するために反復継続的に来訪する親族を適用対象者とした運賃の低廉化を行ってお

ります。

令和4年度運賃低廉化利用実績は16万9,793人で、補助対象事業費は4億8,670万7,000円であり、市の負担は1億950万7,000円となっております。

市といたしましては、運賃低廉化事業は関係離島で適用対象の範囲を統一した上で実施できているものであり、対馬市が単独で島外者への適用範囲を拡大するとしますと他の関係離島との統一性のない施策を行うこととなり、運賃低廉化事業の統制を乱す恐れがあることから、島外の離島出身者への適用拡大につきましては、関係する離島の市町と今後も意見、情報交換等を実施いたしながら、国、県へ要望を行ってまいります。

次に、3点目の水産振興についてでございますが、対馬市の基幹産業であります水産業においては、長引く燃油価格の高騰や餌料の急激な高騰などコスト増大の影響を受け、漁家経営にとって厳しい現状であると認識しております。

議員御質問のアナゴにつきましては、全国有数の水揚げを誇り対馬のブランド魚として全国的に知名度の高い主要魚種であります。水揚げ量は減少傾向にあり、魚体の小型化等、資源減少が懸念されております。

また、スルメイカの全国的な不漁に伴い、今年度に入り餌の高騰が顕著となり、前年対比約150%以上の上昇率で漁家経営を急激に圧迫する厳しい状況となっております。

近年の価格高騰を受けて、令和4年度からアナゴ籠実行組合及び対馬水産業普及指導センター、長崎県総合水産試験場などの連携により、安価で効率的な代替餌の調査、研究に取り組みまして、徐々にその成果が現れつつあるものの実用化までには長期間を要する見込みであると聞き及んでいます。

また、令和元年度以降のふるさと納税返礼品におけるアナゴ関連商品の状況を見ますと、返礼品全体の件数は横ばい傾向であるのに対し、アナゴ関連商品につきましては年々増加傾向にあり、全体の12%を占めるなど対馬産アナゴの知名度の向上を実感しているところでございます。

現在、大きな負担となっているコスト増大対策として、平等性を考慮し燃油高騰対策支援を実施しておりますが、このようにアナゴの知名度が上がり対馬ブランドとして重要度が増していく中で餌料急騰は、操業抑制、水揚げ量の減少などアナゴ業界にとどまらず観光業界、飲食業界等への波及も懸念される事態であると認識しております。

このため、はえ縄やクロマグロ養殖等との平等性に配慮しつつ、特に緊急性、重要性が認められる内容につきましては、財源確保に努め、幅広く効果的な支援につながるよう努めてまいり所存であります。

以上であります。

○議長（初村 久藏君） 1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） ありがとうございます。

昨日から市長もお疲れのようではございますが、今日は少し気持ちを切り替えてやんわりと一般質問をさせていただきたいと思います。

対馬市の財政のほうからいきたいんですが、中期財政計画は令和3年度から令和7年度の計画で立てられていますが、今現在の令和4年度末時点の対馬市の財政指数は0.2と認識しておりますが、部長、それでよろしいでしょうか。財政指数です。

○議長（初村 久藏君） 総務部長、木寺裕也君。

○総務部長（木寺 裕也君） はい。大丈夫です。

○議長（初村 久藏君） 1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） 先ほど市長が令和7年度の目標で財政調整基金、減債基金の残高を50億円以上という目標を掲げられて、市債の残高は400億円以下と言われていました。

しかし、この基金の残高はもう令和5年度時点で既に50億円を切られていますよね。令和7年度の目標は50億円以上ですが、もう既に令和5年度の目標で修正されて50億円を切られています。令和7年度末では基金が45億円になるとなっております。それと、基金の合計残高も124億円と既に減少していく基金の計画となっております。

今、対馬市の職員は500名いらっしゃると思いますが、このような今の財政状況を市の職員が把握されているのか。500名の皆さんがこのような基金の状態というのを分かっているのか、市長、答弁をお願いいたします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 職員は、大方、このことにつきましては把握しているものと思っております。また、予算要求とかそういう時期には、そのときの基金残高等の周知は職員にしている状況でございます。

先ほど、令和5年度時点の財政調整基金と減債基金の残高については50億円を切っているのではないかというような御指摘でありましたが、財政調整基金、減債基金につきましては、その都度、いろいろと出したり入れたりということももちろんございますが、令和4年度末の財政調整基金は約7億7,000万円でございます。それと先ほど申しましたように市債残高の目標は400億円以下ということで、よろしくをお願いいたします。

○議長（初村 久藏君） 1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） 今、対馬市の場合、市税は毎年29億円前後の収入の見込みを立てていると思いますが、自主財源確保ということで、私は先ほど具体的に自主財源を今後どうしていくのかということをもう少し詳しく聞きたかったんですが、市長はこの計画の中で企業誘致

や地場産業の活性化を支援して長期的な税収の確保に努めるという目標を立てられていましたが、今現在、2期7年されて、この企業誘致というのを私たちが考えていく中でなかなか厳しい現状ではなかったかと思っております。それで、今、そのような動きがあれば、ここで答えられる範囲でいいんですが、そこを教えていただけないでしょうか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） これまでも企業誘致につきましては、一生懸命、取り組んでまいりましたが、この3年程度はコロナが拡大してきた状況の中で、なかなかこのことが難しかった状況については御理解をいただきたいと思っておりますし、まず初めに、今の対馬市の課題であります通信環境の是正、そして脆弱性を改善していくという中でNTTの光回線に引き替えていくということで、もう既に工事等も始まっている状況ではあります、NTTさんのほうにも関係会社等の対馬への進出についてもお願いしている状況でありまして、NTTさんのほうとしても前向きに考えていただいているというところでございますし、また、これはまだ名前は申し上げることができませんが、今、事務関係の事業者等も対馬市のほうに進出をいろいろと考えていただいているところでございます。

○議長（初村 久藏君） 1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） 今、市長のほうから事務関係の企業が進出を考えているということで、これは具体的にいつ頃とか、そこら辺の公表はまだできないわけですね。分かりました。では、それで雇用の方ができると期待しておりますので、早急に進めていただきたいと思っております。

次に、歳入のほうですが、今、対馬市にはいろいろと廃校舎とか対馬市所有地の建物がたくさんあると思いますが、償還済みの建物を売却するというようなお考えというのはないでしょうか。そのような物件があれば、廃校とかいろいろとありますが、貸すのではなくて売却にかじを切っていくとか、そういう話は出ていないでしょうか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） まず初めに、廃校舎等につきましては、使用料等を減免した上でいろいろな企業に活用していただく活用策を、東京対馬会、関西対馬会、そして福岡対馬会をはじめいろいろなところに周知しているところでございまして、まず、今現在、1社がある学校を活用したいということでお話しはいただいているところでございますし、具体的な話はまだできませんが、ほかの1社もいろいろな考え方で、今後、話を進めていけるものと思っております。

その中で、売却を進める学校はないかということですが、今後、旧校舎の除却とかといたところを考慮していきますと、話の内容によっては売却することも考える必要があるのではないかと思っておりますし、今現在、自衛隊の増強等の関係もありますが、今後、自衛隊さん

といろいろと話しながら、あと1校、ある学校を売却することも可能ではないのかなということで、このことについては、まず地元といろいろと協議も進めながら、また議会のほうにもいろいろと相談をすることになるかと思しますので、今現在の状況はそこで止めさせていただきたいと思っております。

○議長（初村 久藏君） 1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） いろいろと市長のほうから答弁をいただきました。今後、将来に向けていろいろと考えられていると思しますので、よろしく願いいたします。

次に、歳出削減についてでございますが、先ほど市長は具体的にいろいろと事務関係の削減とかを言われていましたが、各担当部でいろいろな事業をされていると思し、各部長さんもいろいろと削減のほうで頭を悩まされていると思しますが、今、ガソリン価格等が高騰しているのは対馬市全体のことでございますが、対馬市の公用車が各行政サービスセンターとかを含めて、私が調べている中では全体で200台ぐらい対馬市が所有している、リースとかを含めるともう少し多いのではないかと考えていると思しますが、この対馬市の燃料高騰対策について、本当に必要な車両は何台なのか、車検費用とかも含めて、そういったのもやはり考えていくべきではないかなと思っております。

そして、今、対馬市はEVの電気自動車はまだ1台も導入されていません。これだけガソリンの高騰が続く中でそういったお考えは、おそらく長崎県の自治体で電気自動車を入れていないのは対馬市だけだと思います。その辺の動きというのはされているのか、その答弁をお願いします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 確かに議員おっしゃられるとおり、今、対馬市の公用車の中ではハイブリッドはございますがEVの電気自動車はございません。このことにつきましては、エネルギー状況の厳しい中であって乗り遅れているということは十分に感じております。

そこで、対馬市といたしましても電気充電所の関係がございしますので、このことにつきまして関係機関といろいろと話もさせていただいておりますが、ある程度、この充電所の整備のめどが立てば、対馬市のほうも公用車は順次EVに切り替えてまいりたいと考えているところでございます。

○議長（初村 久藏君） 1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） 今、市長も答弁されましたが、対馬市の今の財源というのは議員皆様をはじめ職員の皆様も感じておられると思します。市長、副市長、教育長をはじめ500名の職員、我々市議会議員はもちろんのこと、私たちは市民の税金によって給料、報酬をいただいていることを忘れてはならないと思っております。市民サービスはもちろんのこと、市職員



500名がコスト削減の意識改革を持ち、変わらないと対馬の財源はますます厳しい状況になってきます。

これから大型公共工事とか対馬市の新庁舎の建替え問題、それから安神のトンネル工事とか様々な公共工事等がございます。今後、第2次総合計画、SDGs未来都市宣言、ごみゼロ宣言等を含めて、様々な事業が本当にこの振興計画によって進められるのか、これは市長の手腕にかかっていると思います。市長、最後に今後の財政の状況の正直なお考えを市民の皆様にもお伝えください。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 対馬市の財政状況につきましては、大変厳しい状況に変わりございませんが、その運営等につきましては、実質公債費比率等も7.7%と、昨日、総務部長のほうから発表していただきました。

そういう中で、まだ今現在は健全な財政運営を行っておりますので、先ほども申しましたように財政状況は厳しい中ではありながらも、やるべき事業については前向きにやっていくという取捨選択の気持ちを持ちながら、今後も豊かな対馬の市政を目指して努力してまいりたいと考えております。

○議長（初村 久藏君） 1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） 次に、航空運賃等の割引、低廉化のほうに移りたいと思います。

この問題はやはり私だけでなく、ほかの議員さんや市民の皆様からの声が一番多い問題でございます。

令和5年8月末現在で島民割引の対象者の人数、また準島民割引の対象者の人数等が分かりましたら、伊賀部長、よろしく願いいたします。

○議長（初村 久藏君） しまづくり推進部長、伊賀敏治君。

○しまづくり推進部長（伊賀 敏治君） 全島民の皆様は島民割引でございますので、8月末現在とおっしゃいましたが、今年度の準島民のカード発行枚数が93枚でございます。

○議長（初村 久藏君） 1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） ありがとうございます。

今、伊賀部長のほうから全島民と言われましたが、小さいお子さんは対象にならないと思いますので、島民カードの枚数は分からないですか。分かりました。2万枚ちょっとぐらいでしょうね。

そして、有人国境離島法よる交付金で対馬市が対象としている低廉化の事業ですが、今年の令和5年4月時点では補助対象事業費が5億7,700万円に対し国費で3億1,700万円、県と市で令和5年度は1億3,000万円ずつの予算が計上されております。

期間限定というのは、お盆、年末年始ですが、国では島民ではなく島外の方は認められておりませんが、私が言いたいのは、やはりここを一般財源もしくはふるさと納税等を予算に入れて、期間限定でこの予算を来年度から少し組み込んでいただけないかという要望ですが、一般財源を用いてでございます。市長、どうでしょうか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） もちろんふるさと納税等をここに組み込むことはやぶさかではありません。ただし、この関係事業者等を今年度から変えましてふるさと納税の拡大に努めているという中で、今、令和4年度の利用者数といたしましては、議員おっしゃられます4月、5月、8月、12月、1月の5か月間で見ますと9万600人程度ということでございます。このうちの島民以外を1割と見込んだ場合は市の負担見込み額は約2,600万円ぐらい、島民以外をこの9万600人の中から2割と見込んだ場合の負担金を想定してみますと約5,200万円ぐらいという金額までは算定しておりますが、このことにつきましては、先ほども申しましたように対馬市だけで単独で走ることについては、全国の離島の協議会の中とか、有人国境離島法を活用する自治体の中での議論がもう少し必要であろうと考えているところであります。

○議長（初村 久藏君） 1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） これは何度言ってもやはり厳しい現状ですかね。今、ふるさと納税の話が出ましたが、全国のふるさと納税の納税者が対馬市に寄附をされると思います。その返礼品として航空運賃割引のチケットとか、そういったものの検討はできないか。返礼品として航空運賃の割引はどうですか。

○議長（初村 久藏君） しまづくり推進部長、伊賀敏治君。

○しまづくり推進部長（伊賀 敏治君） 例えば対馬事業所の九州郵船であったりとか、そういったところがふるさと納税の返礼品に参加して、そういったものを商品として出すということは可能だと思います。

ただし、今、準島民という、先ほど市長が答弁した部分ですが、これまで準島民の拡大については、平成29年度の施行以来、3段階で少しずつ拡大になっております。そういった中で、新たな準島民という部分を対馬市が単独ですということになれば、国のほうも市町が単独でできるならもう一般財源でやればいいのか、今後の拡大はもうしなくていいのではないかとというような懸念もされますので、今後の拡大については、単独でやるといっても関係離島との足並みはそろえておかないと、市単独では少し難しいと考えております。

○議長（初村 久藏君） 1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） 分かりました。

もう1点、準島民割引についてですが、今、いろいろと介護関係で島外から来られている方も

準島民とされているようですが、島外から看護師とか介護福祉士の人材不足で対馬病院や対馬島内にある老人介護施設に派遣社員として、3か月ないし1年間で全国から働きに来ている派遣社員が対馬島内に30名から40名ぐらいいらっしゃると聞いているんですが、この方々もやはり月1回ないし2回は福岡の家族のところに戻ったり、全国のいろいろなところに里帰りをされているわけですよね。そういった方々の準島民割引は適用できないのかを少し検討していただきたいという要望があるんですが、どうでしょうか。

○議長（初村 久藏君） しまづくり推進部長、伊賀敏治君。

○しまづくり推進部長（伊賀 敏治君） 今の案件にしましても先ほどの答弁と重複しますが、市がそういった方々を単独で一般財源でやろうということにすれば、それはできると思いますが、先ほども申しましたように他の離島との足並みをそろえるということで考えると厳しいのかなというところですよ。

○議長（初村 久藏君） 1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） 他の離島との足並みというか、一般財源ですから対馬市の財源でやるから、やはりそこは他の離島に対して遠慮する必要はないと思いますよ。介護の派遣で来られている社員ですよ、看護師さんとか、そういった方を言っているんですよ。またいろいろと検討してみてください。よろしく願いしておきます。

次に、最後はアナゴ関係の水産のほうに移りたいと思いますが、ここ数年でアナゴ籠に使用するイカが高くなっているということを聞いております。この餌の高騰に対して、県とか漁協関係者との協議は対馬市としてどのような認識をされているのか、黒岩部長に答弁をお願いしたいと思います。

○議長（初村 久藏君） 農林水産部長、黒岩慶有君。

○農林水産部長（黒岩 慶有君） お答えいたします。

アナゴ籠も150%ほど上がっております。そのほかにも、はえ縄はいろいろと魚種はありますが、クエであるとか、アマ、マダイ、それとクロマグロの養殖、それら全てを含めると、今、価格が高騰している部分だけでも推定で5億5,000万円と試算しているところでございまして、アナゴだけに限って支援をするということは今のところ考えていないというところでございます。

○議長（初村 久藏君） 1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） いろいろと燃油高騰対策としては、対馬市はほとんど組合員とかでやられていると思いますが、先ほど市長からも対馬のブランドアナゴということで、平成24年度では850トンぐらい獲れていたアナゴが令和4年度現在では480トンで、もう半分にまで減少しているわけですよね。関東、関西、全国各地にいろいろと出荷をされていますが、

今、島内でどれぐらい消費をしているのか、そして島外でどれぐらい出荷をしているのか。また、海外等へ出荷されているのかが分かれば答弁をお願いいたします。

○議長（初村 久藏君） 農林水産部長、黒岩慶有君。

○農林水産部長（黒岩 慶有君） お答えいたします。

今、アナゴを活魚として島外に出荷されている民間の企業様が4社と認識しております。アナゴ船団の組合員は30名ほどおりますが、その企業と相対取引をされている関係で、島内にどのぐらい流通しているのかというのは今のところつかめていないという状況でございます。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） つかめていないのはつかめていないで構いませんが、やはり国内観光客や韓国人観光客は対馬のアナゴを食べに来るのに、今、飲食店ではアナゴが手に入らず食べられない状況でございます。対馬島内には30隻ほどと先ほど部長も答弁をされましたが、アナゴ船団のこの状態が続きますと、もう近い将来、対馬のアナゴの漁獲量は危機的な状況であるということをお市長にお伝えしておきます。今、対馬の市政20周年のロゴマークの20のゼロのところにアナゴが入ってますよね。市長、アナゴがいなくなったらこのロゴマークのアナゴは取らないとだめですよ。だから、これだけアナゴの漁師さんは困っているということをお伝えしておきます。

以上でございます。ありがとうございました。

○議長（初村 久藏君） これで、糸瀬雅之の質問は終わりました。

○議長（初村 久藏君） 昼食休憩とします。再開は1時05分からといたします。

午前11時56分休憩

午後1時05分再開

○議長（初村 久藏君） 再開します。

午前に引き続き、市政一般質問を行います。10番、小島徳重君。

○議員（10番 小島 徳重君） 皆さん、こんにちは。10番議員、対政会の小島徳重です。

3項目通告しておりましたが、2項目めの常設型住民投票条例の制定については、通告を取り下げさせていただきたいと思っております。御迷惑をかけますが、そのようによろしくをお願いいたします。

まず、1項目は対馬市SDGs未来都市計画及びアクションプランについてお尋ねをします。

1点目、対馬市SDGs未来都市計画及びアクションプランのビジョンは、市民に浸透し、目